

(別紙5)

補助事業番号 26-1-039  
補助事業名 平成26年度引きこもり・不登校に対する支援活動補助事業  
補助事業者名 公益財団法人子ども教育支援財団

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

不登校の小中学生が、この事業のグループワークを経験することで得られる成功体験や達成感を通して、ひとり1人の自己有用感や自己肯定感を涵養することを目的とする。あわせて、高校生ピアアシスタントやメンタルサポーターが、「ななめの関係」でかかわることにより、不登校の小中学生が、より具体的に進学や将来のビジョンを持ち、学校復帰に対しても前向きに考えられるようになること。

### (2) 実施内容

[http://www.kodomo-zaidan.net/images/common/jka\\_info\\_2014.pdf](http://www.kodomo-zaidan.net/images/common/jka_info_2014.pdf)

子ども達や保護者の方の自信がわいてくるように  
事前オリエンテーション+キャンプ(2泊3日のグループワーク)+思い出振り返り会  
に分けたステップアッププログラムを実施。

【子ども達に】



①事前オリエンテーション



②知り合いづくりワーク



③2人組での協力し合うワーク



④グループ(5~7人)での協働体験

(別紙5)



⑤ チーム対抗ワーク



⑥ 集団でのワーク



⑦ 自己有用感を育むワーク



⑧ 思い出振り返り

【保護者の方に】



⑨ 保護者カウンセリング

## 2 予想される事業実施効果

- 不安を抱えながらも、事前オリエンテーションを通して参加できたことが達成感につながる。
- 「出来た体験」と「達成感」によって、自尊感情が高まり、結果として学校復帰の意欲や自分の将来に対する期待が高まる。
- 「思い出振り返り会」によって、事業によって高まった自尊感情を維持することが出来る。
- 参加した小中学生が大学生や高校生とかかわることで、具体的な進学イメージを持ち、より学校復帰を現実的に考えられるようになる。
- 高校生や大学生にとって、小中学生をサポートする経験は、自己有用感や自尊感情を高める。
- 保護者がこの事業に参加することによって、他の子どもを客観的に見る機会や子どもと距離を置いたところでワークショップを行うことで、子どもの良さを再認識したり、子どもの多様な育ちを受け止めたり、子育てに前向きになることが出来る。

## 3 本事業に係る成果物

- (1) 補助事業により作成したもの  
キャンプちらし(近畿圏)

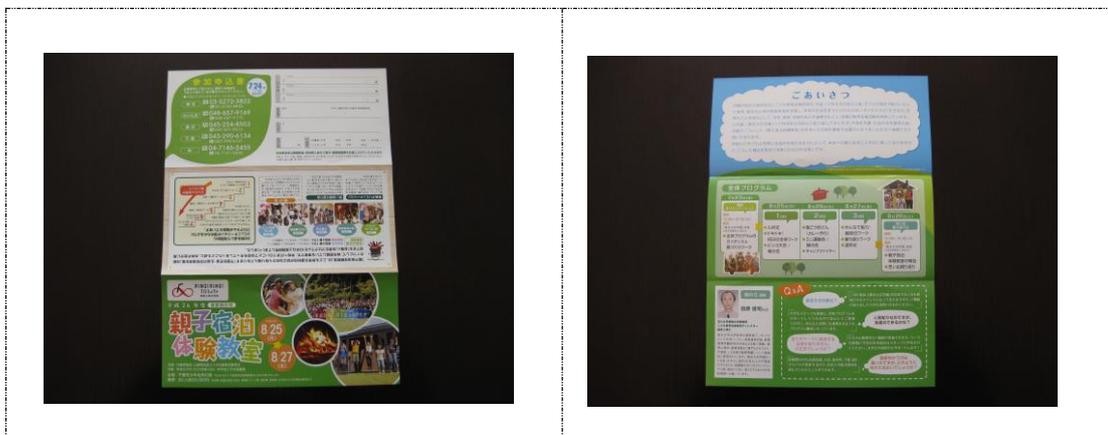
[http://www.kodomo-zaidan.net/images/common/kinki\\_201504.pdf](http://www.kodomo-zaidan.net/images/common/kinki_201504.pdf)



(別紙5)

キャンプちらし(首都圏)

[http://www.kodomo-zaidan.net/images/common/shutoken\\_201504.pdf](http://www.kodomo-zaidan.net/images/common/shutoken_201504.pdf)



こどもの自尊感情を高める「親子体験教室実施結果のご報告」

[http://www.kodomo-zaidan.net/images/common/houkoku\\_201504.pdf](http://www.kodomo-zaidan.net/images/common/houkoku_201504.pdf)



#### 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益財団法人こども教育支援財団（コドモキョウイクシエンザイダン）

住所： 〒111-0052

東京都台東区柳橋2-4-1

代表者： 理事長 大橋 博（オオハシ ヒロシ）

担当部署： 事務局（ジムキョク）

担当者名： 事務局長 小野 厚治（オノ コウジ）

電話番号： 03-5823-2566

F A X： 03-5823-2577

E-mail： [k.ono@kodomo-zaidan.net](mailto:k.ono@kodomo-zaidan.net)

U R L： <http://www.kodomo-zaidan.net/index.html>